



地元の小中学生・保存会の方々による、郷土芸能「越中おわら風の盆」の発表。地域に伝わる芸能を部活動として行なうなど、児童・生徒や地域の皆さんのふるさとへの意識が強く感じられました。

5月22日(水)～24日(金)に第71回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会が富山県で開催されました。この協議会は全国802の市・特別区の教育長によって構成されており、相互に情報共有を行い、連携をより深めることを目的に設置されています。

今回の大会テーマは「未来を切り拓く教育の在り方」となっており、情報化が著しい現代社会を生きていく子ども達に教育を通してどのような力を育んでいくのかという観点に着目したものでした。

総会議事や文部科学省からの講話、研究部会での分野別研究発表会などがあり、これからの未来社会を見据えた教育の在り方について各都市教育長による熱心な議論がなされました。

子ども・家庭を取り巻く教育的諸課題は多岐に渡りますが、こうした研修会での情報を活用しながら、本市の実情に応じた教育活動を推進してまいります。



研究部会での事例発表



教育総務課

第71回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会富山大会

五條市教育広報

夢志のひろば

MU-SHI

編集・発行 五條市教育委員会 ☎0747-22-8751 637-0083 五條市下之町 21 番地

もくじ

- 1 面 ご挨拶
- 2 面 学校紹介
- 3 面 学校紹介
- 4 面 教育委員会から

1 挨拶

～新たな年度のスタートにあたり～

5月から元号が「平成」から「令和」となり、新たな時代を生きていく子ども達の教育を整えるため、各種施策に取り組み気持ちを新たにしたい次第です。

平素は本市教育行政の推進に格別のご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度は五條市の教育にとって、非常に大切な節目の年となります。

今後の五條市の教育を根本から支えていくための「小中学校の規模・配置の適正化事業」や「認定こども園整備推進事業」地域農業の担い手づくりの一翼を担う「賀名生分校魅力化推進事業」、ふるさと五條の歴史・文化を再確認し、次代に引き継いでいくための「新五條市史編纂事業」など大切な事業が目白押しとなっております。

こうした事業を「教育はまちづくりである」という観点を見失うことなく、幅広い視野を持ちながら展開していきたいと考えています。現在、五條市の児童生徒数は急激に減少しており、一定の集団規模を確保することが難しい状況となっております。

また、社会の変化も激しく、高度情報化、国際化が急速に進み、有識者の間では、人工知能(AI)やロボットが人間



に取って代わる時代がすぐそこまで来ており、「今ある職業の半数が10年～20年のうちになくなる」と言われています。

そうした「予測不可能な社会」を生きていく子ども達には、自発的で豊かな社会性・これまでにない時代に対応出来る「考える力」が求められてきます。

そのために本市では「小中学校の規模・配置の適正化事業」、「認定こども園整備推進事業」を通して「0歳から15歳」をキーワードに掲げ、子ども達の学びを連続的に捉え、これからの社会を生きていく力を一貫して育んでいくことを目指しています。

「五條で住んで良かった」、「五條で学ばせて良かった」と言っていただけのような教育、時代のニーズに合致した教育を提供出来るよう施策の推進に努めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様にはこうした社会の要請する教育にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

五條市教育委員会
教育長 堀内 伸起



学校教育課

学校教育課では、子どもたちが社会を生き抜く力を身に付けるために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体と安全」の3つの観点をバランスよく育むための学校力づくりを支援しています。就学前から小中学校とつながり、それぞれの発達段階を基礎期・拡大期・充実期・発展期と分けて段階に応じて働きかけることにより、より効果的に子どもたちの力を高めることが期待できます。幼小中教員間の連携や地域コミュニティ・家庭をその基盤とし、取組を推進していきます。

また、新学習指導要領の完全実施を控え、各小中学校にタブレットを導入し、タブレットを活用した授業展開を進めていきます。

さらに、縦横連携の構築をテーマにした五條東中学校と、読書活動の充実をテーマにした北宇智小学校の2校を指定研究校としました。



タブレット使用の授業風景

特色ある学校づくり支援事業においては、野原中学校区の「野原十八景」づくり、西吉野中学校区の「志を持ち、夢をかなえる子ども」の育成、五條西中学校区の「小中一貫教育の推進」の3校区を研究指定しています。

また、読書活動活性化事業として、図書館司書を6校に、図書支援員を7校に配置しております。体力づくりでは、体力向上支援員を各小中学校に配置しております。また、食物アレルギー研修や就学指導委員会等で個別の子どもたちのニーズに応える支援を行っております。

今年度開催する主な催し

- ・ふるさと学習の一環としての「小生五條かるた大会」の開催
- ・理科に対する興味関心の向上を図る「サイエンススクール」の2日間開催
- ・読書活動活性化を図る「五條市調べる学習コンクール」の募集



「つながる教育」のイメージ図

次回の発行は9月の予定で、阿太小学校、宇智小学校、北宇智小学校、五條東中学校を紹介いたします。

「1 年生 春の遠足」 ～ 6 年生に手を引かれながら ～



4月19日（金）、春の遠足が行われました。例年と比較して一週間ほど早く遠足を予定していたので、入学したばかりの1年生としては、まだまだ自分たちだけで遠足へ行くのは不安そうでした。

そこで自ら名乗りをあげたのが6年生のお兄さんお姉さん。「じゃあ、私たちが、一緒に行つてあげるよ。」

さすが、牧野小学校のリーダー達です。

当日は、五万人の森まで6年生が1年生に優しく声を掛けながら、一歩一歩進んでいきました。楽しくお話をしたり、危ないときは注意をしつたりしながら、楽しく安全に遠足に出かけることができました。

五万人の森では、6年生が「1年生を迎える会」を企画し、ゲームや縄跳びをして、楽しいひとときを過ごしました。

今年の牧野小学校のテーマは「やりぬく！」です。

頼もしい牧小のリーダー「6年生」が中心となって、さらに牧小を盛り上げてくれることを願っています。



牧野小学校

中之町921 ☎(22)2584

対話的な活動を通して、自らの考えを広げ、深めることができる学習集団づくり



今年度、野原小学校では「対話的な活動を通して、自らの考えを広げ、深めることができる学習集団づくり」というテーマで研究を進めています。

授業の中で自分の考えを伝えたり、友だちの意見を聞いたりする交流活動を積極的に取り入れ、自分の考えを深め、広げることで、児童の学びがさらに深まります。

また、自分の考えを伝え、認められることで学習意欲が高まり、進んで課題に向き合い、主体的に学ぶ児童の育成につながると考えています。

学力向上を目指した取組

家庭学習習慣の定着

学年に応じた家庭学習の手引きを作成し、家庭と連携して家庭学習習慣と基礎・基本の力を確実に定着できるように取組を進めています。

また、自主学習ノートの取組を工夫し、学習意欲を高め、自分で計画を立てて学習を行う力を身につけられるよう、学力向上に向けた取組をさらに進めていきます。

読書活動の充実

昨年度に引き続き、「読書活動活性化事業」のモデル校として、子どもたちの読書意欲の向上や読書活動の充実に向けて取組を進めています。

図書館司書の方と連携して、授業の中で効果的に図書館を活用し、子どもたちの「読む力」を高めていきます。

べんぎょうのしかた (1人)

べんぎょうを はじめるときに

1. 手紙やカードの裏面に書いてもらう。
2. 自分でも、自分なりに書いてもらう。
3. 先生や友達に読んでもらう。

べんぎょうのしかた

1. 手紙やカードの裏面に書いてもらう。
2. 自分でも、自分なりに書いてもらう。
3. 先生や友達に読んでもらう。

べんぎょうが 終わったとき

先生や友達に、読んでもらう。

べんぎょうの 終わったとき

先生や友達に、読んでもらう。

◎家庭学習の手引き

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人格の形成をめざし、社会の発展に寄与する生徒を育成する

～生徒会活動～

「地域のみなさんに親しみやすい野中生」を合い言葉に日々活動しています。

昨年度から、エコキャップ運動を「吉野ストア」や「カルム五條」など地域の方々にも協力していただいているところであります。

今年度は新たに、校内に「目安箱」を設置します。

野原中学校最後の年に、生徒ひとりひとりが主体性をもって充実した学校生活を送るために、何をしていくのか、生徒会として何ができるのかを模索するためのひとつの目安となるものと思っています。

～ふるさと学習～

昨年度から野原小学校と連携し進めてきた「ふるさと学習」ですが、今年度をもつて野原中学校が閉校することもあり、より地域を深く知り、地域に愛着をもった大人に成長してもらうために、「野原十八景」の作成と、野原のことを歌った曲の作成しようとして頑張っています。

野原校区の良いところを後世まで残せるよう、生徒会を中心に取り組んでいます。



野原中学校

野原中3-5-43 ☎(22)2221



五條西中学校

大澤町374 ☎(26)2118

自治会とつながる

地域イベント・MAK-まつで西中フース運営

牧野地区自治会は、毎年9月に「MAK-まつ」という夏祭りを開催しています。6年前から本校を会場として開催されていますが、生徒会を中心に、西中フースを運営するようになりました。

当日は、牧野保育所のお遊戯、牧野小学校金管クラブの演奏、地域の皆さんの文化発表などと共に、各自治会の模擬店にもぎやかにテントを並べています。本校のフースでは、子どもたちに人気のフライングボートをふるまいました。

「まきのDE盆踊り」への協力

毎年8月第1土曜日に開催される「まきのDE盆踊り」は、牧野地区自治会と社会福祉法人正和会との共催で行われています。昨年はお屋敷から模擬店が出店され、生徒達は、福祉施設の入所者の方のサポートをしながら一緒に盆踊りを楽しみました。

福祉施設とつながる

社会福祉法人正和会と連携協力協定

1997年の開校以来、本校に隣接する正和会とは友好関係にありましたが、2014年7月、「社会福祉法人正和会と五條西中学校との連携協力に関する協定書」を調印しました。以降、積極的に福祉施設との交流学習や行事の支援・招待、合同避難訓練などを行っています。正和会の地域に開かれたイベント「秋穫祭」では、毎年、本校の生徒がボランティアとして手伝ったり、吹奏楽部が演奏を披露したりしています。

ルポゼまきので1年生交流学習

総合学習の一環として、1年生は福祉体験学習を行っています。なかでも約20年にわたって、ルポゼまきの（正和会）の入所者の方々と交流を行っています。一緒に作った団子を食べたり、ボールゲームなどを楽しんだりしています。

